

専門

地球物理学。とくに、地震学、自然災害科学に基づくハザードマップ構築など災害軽減のための研究。

抱負

第18期の会員としての経験から、日本学術会議は我が国の科学者コミュニティを代表する機関として重要な任務を担い種々の課題の解決に取り組んできたが、そこでの審議結果の社会的影響力は必ずしも高いとはいえず、科学者コミュニティの代表としての役割が十分果たせてないように感じていました。第20期からの新しい日本学術会議の発足にあたって、国の科学・技術政策への提言、国際的な学術の発展への寄与、学術成果の国民生活への浸透など、科学者の社会的責任が果たせるような機関に生まれ変わることを期待し、そのために会員として少しでも役立つ活動をしていきたいと考えています。21世紀の最重要課題の1つである持続可能型社会の構築のためには、地球温暖化の防止や大規模自然災害の軽減など地球惑星科学に関連する研究の発展が不可欠であり、そのために地球惑星科学研究者の役割はきわめて大きいと考えます。日本惑星科学連合と手を携えて日本学術会議がその本来の役割を果たせるように努力していきたいと思えます。